

地震・津波防災訓練 シンポジウム

参加
無料

大きな地震のあとに“津波が来るから逃げて!”と聞いたとき、皆さんは率先して逃げるができますか? きっと大丈夫! そう考えることはありませんか? 地震や津波に備えて私たちはどのような心構えをしておけばよいのでしょうか。

内閣府では、11月5日の「津波防災の日」を中心に地震・津波防災訓練を実施します。

この度、訓練に先駆けてキックオフシンポジウムを開催しますので、皆様の御参加をお待ちしております。



日時

平成26年7月30日(水)
13:00~16:30(受付開始12:30)

定員

550名

定員になり次第締め切りいたします。

場所

和歌山市民会館 小ホール

〒640-8204 和歌山県和歌山市伝法橋南ノ丁7番地

※ご参加につきましては裏面の申込書をご記入のうえFAXしてください。

プログラム

開会挨拶

民間企業における津波防災訓練の事例について

未定

和歌山県津波災害対応実践訓練について

高瀬 彰彦 和歌山県総務部危機管理局総合防災課副課長

基調講演「なぜ人々は津波から逃げることを戸惑うのか ～災害情報と人間心理を知る～」

木村 玲欧氏 兵庫県立大学環境人間学部大学院環境人間学研究科 准教授

パネルディスカッション

コーディネーター

木村 玲欧氏

「これからの津波防災訓練について」

パネリスト

高瀬 一郎 和歌山県総務部危機管理局長

豊嶋 茂一 宮城県多賀城市総務部交通防災課主査

宮崎 裕之 内閣府政策統括官(防災担当) 付
参事官(地方・訓練担当) 付 参事官補佐

講演者・コーディネーター



兵庫県立大学環境人間学部
准教授(防災心理学・防災教育学)

木村 玲欧 (きむら れお) 氏

「稲むらの火の館」見学会

希望者
のみ

7月30日(水) 10:00~11:00

開始10分前に「稲むらの火の館」までお越しください。

※入館料500円は各自負担となります。

※当日は和歌山市駅(JR・南海)との間でバス(無料・要事前登録)を運行します。

和歌山市駅 9:00発 → 9:45着 稲むらの火の館
12:00発 ← 11:15着



お問い合わせ

「地震・津波防災訓練シンポジウム」事務局 [(株)プロセスユニーク]

TEL 03-3545-3571 FAX 03-3545-3610

主催：内閣府

共催：和歌山県

和歌山県広川町

「稲むらの火の館」ご紹介

「稲むらの火の館」は、「濱口梧陵記念館」と「津波防災教育センター」からなる施設です。



濱口梧陵記念館

梧陵六十六年の生涯をひもとく、ゆかりの空間の中で、偉大な功績や教訓、梧陵の人物を感じさせるエピソードに出会えます。

津波防災教育センター

濱口梧陵の防災精神や、「稲むらの火」の人命尊重の精神をふまえ、来たるべき津波災害から大切な生命やくらしを守ることを学びます。

濱口梧陵 (はまぐちくりょう)

安政の南海地震による大津波が広村を襲いました。梧陵は「稲むらの火」を灯し村人を救い、大堤防築堤で広村の防災百年の計を成し遂げました。

- 参加ご希望の方は必要事項を記入の上 WebまたはFAXでお申し込みください。
- 後日参加証をお送りいたします。
- 当日は参加証をご持参ください。

●申込期限

平成26年7月23日(水)

◆文字は楷書でご記入してください。
定員になり次第締め切りいたします。

地震・津波防災訓練シンポジウム

申 込 書

Webからの申込みは、下記ホームページをご覧ください。
<https://www.p-unique.co.jp/bousai/wakayama/>

送付先：事務局

FAX 03-3545-3610

ふりがな 氏 名 (必須)			
所 属 先	会社・団体名	部署・役職	
参加証送付先 (いずれかひとつ必須)	●郵送 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ●F A X: () ●E-mail: @		
中止になった場合の 連絡先 (必須)	() 携帯電話・勤務先・自宅		

「稲むらの火の館」見学会に参加希望される方は右欄に○印をつけてください。

※入館料500円は自己負担(当日集金)となります。 ※無料バス運行

バス往復乗車

復路のみ(現地集合)

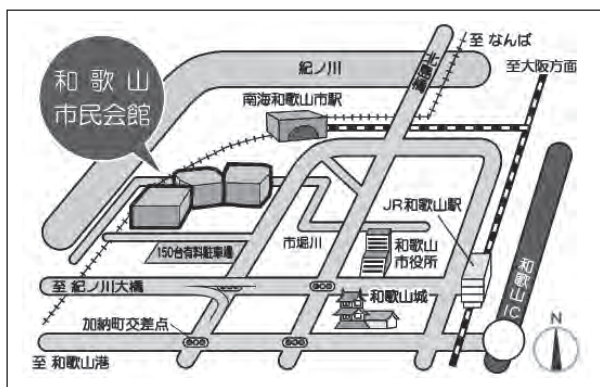
●本シンポジウムへの申込に必要な個人情報は、参加者の決定、参加者一覧の作成、参加者への連絡及び本セミナーの円滑な運営のためのみ利用させていただきます。他の目的で利用することはありません。

会場案内

和歌山市民会館 小ホール

〒640-8204 和歌山県和歌山市伝法橋南ノ丁7番地

●南海和歌山市駅より南西(正面出口を出て右)へ徒歩5分。



稲むらの火の館

〒643-0071 和歌山県有田郡広川町広671

●JRきのくに線「湯浅」下車、徒歩約15分。

